

令和5年度 遺伝子病制御研究所 一般共同研究申請書

北海道大学遺伝子病制御研究所長殿

令和 年 月 日

所 属 機 関		
所 属 部 局		
(代表者) 申込者	職 名	
	氏 名	
	ふりがな	
連絡先	住 所	〒
	電 話	
	F A X	
	E-MAIL	

研究プロジェクト 及び 主な受入教員名

※ 1.~15.のうち、該当する記号を○で囲ってください。複数選択可

1. 感染癌関連因子を利用した腫瘍発生メカニズムの解析：近藤亨（幹細胞生物学分野）
2. 「がん」及び「移植」の免疫制御に関する研究：清野研一郎（免疫生物学分野）
3. 感染がんの発症機構解明と治療薬探索：園下将大（がん制御学分野）
4. 感染（SARS-CoV-2の研究を含む）、癌、炎症に関わる自然免疫応答の解析：高岡晃教（分子生体防御分野）
5. 感染癌及び正常細胞における膜脂質ダイナミクスの機能と制御機構：田中一馬（分子間情報分野）
6. 感染癌に関わる因子群の構造生物学的解析：野田展生（生命分子機構分野）
7. 感染癌とその関連現象に関わる染色体ゲノム構造の解明：野間健一（ゲノム医生物学分野）
8. ゲートウェイ反射とIL-6アンプの感染癌、COVID19、炎症性疾患誘導への役割：村上正晃（分子神経免疫学分野）
9. 感染性消化器癌における細胞極性因子と関連因子の機能解析：茂木文夫（発生生理学分野）
10. 肝炎ウイルスによる感染癌発症機序の解析：森石恆司（肝炎ウイルス学）
11. 感染がん発症におけるゲノム不安定性の誘導機構：畠山昌則（感染癌研究センター）
12. ピロリ菌感染に起因する胃癌発症機序の解析：紙谷尚子（感染腫瘍学分野）
13. 感染癌を引き起こす感染細胞の運命制御機構の解析：岡崎朋彦（分子細胞生物研究室）
14. HPV陽性感染癌とCOVID19のマウスモデルの作製と診断用の抗体解析：吉松組子（附属動物実験施設）
15. 感染症および感染癌を含むがんの発生・悪性化における免疫細胞の機能制御と疾患治療への応用：北村秀光（免疫機能学分野）

研究課題名					新規・継続の別
					新規 ・ 継続
実施予定日	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日				
共同研究を行いたい遺伝子病制御研究所の教員名（受入教員）					
分野名：					
氏名：					
担当課題：					
分 担 者	所属・部局	職名	若手研究者 ※35歳以下 は○	若手研究者 ※40歳未満 は○	氏名 e-mail
					e-mail:
					e-mail:
					e-mail:
					e-mail:
					e-mail:
					e-mail:
旅 行 日 程	出張者名	泊数	旅費予定額 (以下の注をご参照の上、往復航空券・宿泊費・日当・ 空港までの交通費の合計額を入力下さい)		
			円(出発空港:)		
			円(出発空港:)		
			円(出発空港:)		
			円(出発空港:)		
			円(出発空港:)		
注：					
<ul style="list-style-type: none"> 旅費は「国立大学法人北海道大学旅費規則」及び「国立大学法人北海道大学旅費規定」により計算し、予算の範囲内で支給します。 航空券の運賃は正規料金までの支払いとし、ランクアップされた際の差額は支給できませんのでご了承ください。 宿泊料は「国立大学法人北海道大学旅費規則」により 1泊当たり 12,000円まで支給致します。差額が生じた場合の超過料金をご自身でご負担頂くこととなりますので、ご了承ください。 日当は 1日につき 2,200円支給致します。 若手研究者の年齢は令和5年4月1日時点とします。 					

期待される効果	
継続して申請する研究課題の場合は、これまでの研究成果の概要を記載 ※Acknowledgment への記載がある論文には*印、共著論文には#印を付ける	
申請者の所属長 (押印不要)	職名・氏名